

EDINET における新旧元号の取扱いについて

1. 令和表記について

令和表記による日付を提出日とする提出書類の事前チェック、仮登録及び本登録が可能になっています。

2. 平成表記の提出日に係る留意事項

2019年5月1日以後の提出日等の日付を平成表記（例えば、「平成31年5月〇日」）とすることについて、事前チェック、仮登録又は本登録でエラー又は警告となることはありませんので、御留意ください。

3. XBRL 作成ツールにおける新元号の取扱い

① 大量保有報告書作成（Web 入力フォーム）

Web 入力フォームにおいて令和表記が可能になっています。

2019年5月7日以後の提出日の報告書を2019年4月26日以前に作成した場合、提出日は、平成表記となっていますので御留意ください。この場合、仮登録前の状態において Web 入力フォーム上で、報告書の再作成をすることで、2019年5月1日以後の日付が令和表記に変わります。

報告書の再作成をするには、「大量保有報告書作成画面」で「作成」ボタンをクリックし、次の「大量保有報告書作成確認画面」で「作成実行」ボタンをクリックします（これらの画面については、『大量保有報告書提出操作ガイド（Web 入力フォーム編）』の「4 画面項目説明」を参照してください。）。なお、仮登録済の報告書の再作成をするには、事前に仮登録取消が必要です。

② 大量保有報告書様式（Excel 版）

大量保有報告書様式（Excel 版）の和暦表記は、Excel の機能に依存します。利用環境における Excel が令和表記に対応次第、令和表記を用いた提出書類の作成が可能になります。

利用環境における Excel が令和表記に未対応の場合、平成表記（例えば、「平成31年5月〇日」）で提出することが可能です。

なお、適切な Windows Update を実行することで Excel の令和表記への対応が可能になりますが、Windows Update の実行については、貴社システム担当者に御相談ください。

③ XBRL 作成ツール

令和表記に対応した XBRL 作成ツールが EDINET 提出サイトの「提出書類様式ダウンロード指定画面」からダウンロード可能になっています。

4. XBRL 提出書類の新元号対応

令和表記の日付を詳細タグ付けした書類の事前チェック、仮登録及び本登録が可能になっています。

2019年5月1日以後の日付を平成表記（例えば、「平成31年5月〇日」）とし XBRL で詳細タグ付けすることについて、事前チェック、仮登録又は本登録でエラー又は警告となることはありません。

EDINET への提出書類が前提とする XBRL 仕様の範囲に変更はありません。前提とする XBRL 仕様のうち、令和表記に対応した **Inline XBRL Transformation Rule Registry 2** の改訂版は、XBRL International より次のウェブサイトに公開されています。
`dateerayearmonthdayjp` 及び `dateerayearmonthjp` に対して「令和」が追加されています。

ウェブサイト：

<https://specifications.xbrl.org/work-product-index-inline-xbrl-transformation-registry-2.html>

以上